

5. 大阪府立青少年会館・プラネットステーション

大阪府立青少年会館では、青少年の文化活動の拠点施設として平成2年に「プラネット・ステーション」を建設。そこで行われる主催事業は、青少年の手によって企画・運営されるもので、その運営に「イベントすたっふ」というボランティア制度が導入されている。ボランティアというより、青少年が主体になった事業を組み立てることによって、青少年の健全育成を図ることに主眼が置かれている。

施設・運営の概要

運営母体	(財)大阪府青少年活動財団
所在地	大阪市中央区森ノ宮中央 2-13-33
TEL	06-942-5146
FAX	06-942-2448
開館年月	1965年4月(プラネット・ステーション1990年12月)
複合形態	複合館(ギャラリー併設)
施設特性	多目的
座席数	文化ホール：1,200 / プラネットホール：140
自主事業予算	年間1,000～3,000万円
自主事業数	年間15本(平成八年度)
立地都市人口	2,599,642人(大阪市)
組織体制	総務系:11、企画系:4、技術系:14、計29 (青少年会館全体)



ボランティア制度の概要

名称	・イベントすたっふ
導入時期	・1994.12
登録人数	・168名
導入の経緯	・主催事業は青少年の企画提案に基づいて、青少年のプロデューサーにより実施しており、その運営業務そのものも青少年の手に委ねて実施するためにボランティア制度を導入。
活動内容	・企画提案、受付・場内整理・観客誘導、舞台・音響・照明の補助
募集方法	・主催事業の企画を募集し、採用された企画の提案者が「チーフすたっふ」となる。その企画内容に基づいて「イベントすたっふ」を募集。
研修	・技術講座(6コース)。
実費支給	・予算の範囲内で活動費(交通費相当)を支給。
その他	・主催事業は、大阪府が総合プロデューサーに委託して実施している。委託先から派遣する形で、イベントすたっふのまとめ役として制作チーフを1名置いている。 ・企画の内容に関して、もっとオモシロイ、若者らしい“やんちゃ”なものが出てきてほしい。